

荒田 清耕さん（南砺市広安）

■農産物の生産データ

品 目	作付面積	出荷時期	有機JAS
水稻	97a	通年	無
大豆	10a	〃	無
野菜	3a	品目による	無

■農産物の販売先

・来訪者への直売、道の駅（砺波、福光）、イベント出店、SNSでの販売

■有機農業を始めたきっかけ

昭和45年に地区の基盤整備が行われ、故郷の風景が一変。何とか、あの原風景を取り戻したい。その一心でやってきました。

魚もいない、水草も生えない用水のコンクリート化に反対し、農薬と化学肥料の使用を止めた。全ての稲わらを集めて堆肥にし、ほ場に還元。除草剤も止めたとたんに雑草が繁茂。来る日も来る日も、腰をかがめて草取りをすることになった。

その後、近所のSさんのドジョウ養殖池に、水草1本無いことを見つけ、水田での「ドジョウ除草」を実施。さらに良い効果を求めて「アイガモ農法」も開発（特許3件取得済み）。

堆肥も耕起も止めた一部ほ場では、30年間以上無施肥。南瓜・しそ・大根・白菜は、30年間以上、人間が播種することなく成長し、子孫を残す「自生栽培」に到達。そこらに雑草化（`▽`）。

■これから始める人へ(アドバイス)

何のための農業？食糧を得るため。では何のための食糧？生きるため。では何のために生きる？この実存問題こそが、農業の優れた特異性。

他者の命と共生すべく有機農業なら尚更です、共に命の意味を考えたいです。

